



32チーム、118人が参加したベタンク競技。小さいビュット（目標球）にプール（金属球）を投げ合い、相手より近づけることで得点を競います

スポーツで 交流深める

今年で18回目を迎える宮城県シニアスポーツ大会が10月8日、登米市豊里運動公園で開催されました。当日は、県内34市町村から約550人が参加。夏のようなかきの中、参加者の皆さんはスポーツを通して試合を楽しみ、気持ちの良い汗を流していました。

(17、19ページ)

石越

石越小で創立記念の朝会



▲記念朝会で元気に校歌を斉唱する児童たち

140年の節目をお祝い

石越小学校が9月18日、創立140周年を迎えました。同校ではこのことを記念して、記念誌「みどりの丘」を発刊。石越地区の各家庭に配布しました。記念当日は、来賓を学校に招き記念朝会を開催しました。

記念朝会では、佐藤謙一校長が石越尋常小学校時代の校旗や昭和54年に寄贈されたピアノ（大石耕一郎氏寄贈）の話など、学校の歴史を話し、児童たちは真剣な表情で聞いていました。校歌斉唱では、寄贈されたピアノの伴奏に合わせて元気いっぱいに歌い上げ、節目となる開校記念日をお祝いしました。

まつりを通し絆を深める

第2回西郷地区コミュニティふれあいまつりが9月8日、西郷公民館で開催され、1706人が参加しました。

まつりは、地区内の交流を深めることを目的に昨年から開催。防災訓練も兼ねた炊き出しや防災無線の試験放送を行うなど工夫が凝らされています。

炊き出しでは、婦人防火クラブが中心となって作ったはっと汁に「おいしいね」と舌鼓を打っていました。舞台発表では、西郷小学校の5、6年生が「畑岡神楽」を披露。その後も、民謡や舞踊などの地元スターが登場し、観客の皆さんは大きな拍手を送っていました。

西郷でコミュニティまつり

南方



▲子、孫へ代々受け継がれてきた畑岡神楽

津山

仙台でふるさと津山会総会



▲参加者での記念撮影。改めてふるさとへの思いを強くしました

ふるさとに思いを寄せて

9月28日、ホテルJALシティ仙台で第34回ふるさと津山会総会が開催されました。同会は、仙台市や仙台近郊に居住する津山町出身者で構成され、ふるさとの近況報告や親睦を図ることを目的に年に一度、総会を開催しています。

総会には、会員のほか津山町在住の関係者など約40人が出席。総会後に行われた懇談会では、昔の写真が展示され、参加者たちは懐かしい思い出話に花を咲かせていました。終始和やかな雰囲気です。睦を深めた参加者たちは、お互いの絆を確かめ合いながら、来年35回の節目を迎える次回総会の参加を約束していました。